

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年1月22日 (2015.1.22)

【公開番号】特開2013-114084(P2013-114084A)

【公開日】平成25年6月10日 (2013.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-029

【出願番号】特願2011-260903(P2011-260903)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/34 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/34 J

G 0 9 G 3/20 6 1 2 U

G 0 9 G 3/20 6 3 1 V

G 0 9 G 3/20 6 6 0 Q

G 0 9 G 3/20 6 4 2 A

G 0 9 G 3/20 6 4 1 P

G 0 2 F 1/133 5 3 5

G 0 2 F 1/133 5 7 5

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月1日 (2014.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示部の背面側に光源部を備えた画像表示装置であって、

入力画像に基づいて、前記光源部を構成する複数の分割発光領域の発光強度を制御する発光制御手段と、

前記入力画像に付加するための複数の黒帯画像のパターン、及び前記複数の黒帯画像のパターンに対応した複数の目標輝度を記憶する記憶手段と、

前記入力画像に付加される黒帯画像の領域が、対応する目標輝度で略均一に表示されるように、前記黒帯画像に画像処理を施す処理手段と、備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】

前記記憶手段に記憶される目標輝度は、黒帯画像に対応する分割発光領域の発光強度を最小とし、黒帯画像に対応しない分割発光領域の発光強度を最大とした場合において、前記表示部に表示される黒帯画像の表示輝度の最大値であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示装置。

【請求項 3】

前記発光制御手段は、各分割発光領域に対応する領域の前記入力画像の輝度に基づいて、各分割発光領域の発光強度を制御することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の表示装置。

**【請求項 4】**

前記複数の黒帯画像のパターンは、画像の上下に黒帯画像領域を配置した黒帯パターンを含むことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 までのいずれか 1 項に記載の表示装置。

**【請求項 5】**

前記複数の黒帯画像のパターンは、画像の左右に黒帯画像領域を配置した黒帯パターンを含むことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 までのいずれか 1 項に記載の表示装置。

**【請求項 6】**

表示部の背面側に光源部を備えた画像表示装置の制御方法であって、

入力画像に基づいて、前記光源部を構成する複数の分割発光領域の発光強度を制御する発光制御ステップと、

前記入力画像に付加するための複数の黒帯画像のパターン、及び前記複数の黒帯画像のパターンに対応した複数の目標輝度を記憶する記憶ステップと、

前記入力画像に付加される黒帯画像の領域が、対応する目標輝度で略均一に表示されるように、前記黒帯画像に画像処理を施す処理ステップと、有することを特徴とする画像表示装置の制御方法。

**【請求項 7】**

前記記憶ステップで記憶される目標輝度は、黒帯画像に対応する分割発光領域の発光強度を最小とし、黒帯画像に対応しない分割発光領域の発光強度を最大とした場合において、前記表示部に表示される黒帯画像の表示輝度の最大値であることを特徴とする請求項 6 に記載の画像表示装置の制御方法。

**【請求項 8】**

前記発光制御ステップは、各分割発光領域に対応する領域の前記入力画像の輝度に基づいて、各分割発光領域の発光強度を制御することを特徴とする請求項 6 または請求項 7 に記載の表示装置の制御方法。

**【請求項 9】**

前記複数の黒帯画像のパターンは、画像の上下に黒帯画像領域を配置した黒帯パターンを含むことを特徴とする請求項 6 から請求項 8 までのいずれか 1 項に記載の表示装置の制御方法。

**【請求項 10】**

前記複数の黒帯画像のパターンは、画像の左右に黒帯画像領域を配置した黒帯パターンを含むことを特徴とする請求項 6 から請求項 8 までのいずれか 1 項に記載の表示装置の制御方法。